民衆の声 ボイス

No.106

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL671-3023 FAX681-2060

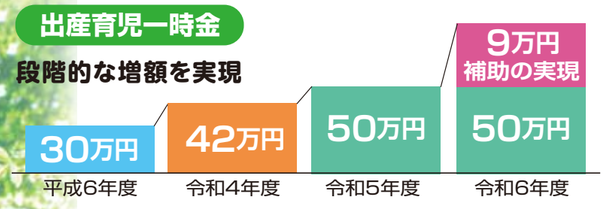
令和6年度予算案 公明党市議団の要望が実現へ！

出産費用の助成 横浜市として最大9万円を補助します。

■横浜市独自の出産費助成を実施

出産育児一時金

段階的な増額を実現



公明党の推進で出産育児一時金が段階的に引きあがり、昨年４月から 50 万円に増額したものの横浜市の場合、費用が高額で賄いきれないとの声を受けてきました。出産費用の負担軽減に向けて、横浜市独自に**9万円**を上限に支給します。

山中市長に要望書を提出

1月5日に、山中市長に「出産費用の負担軽減に関する要望書」を提出しました。また、能登半島地震への市の迅速な対応を緊急要望しました。

パレスチナの平和を求める決議

昨年の11月30日の議会（第４回定例会）初日に「ガザ地区における平和の早期実現を求める決議」を採決。人道目的の即時停戦、国際法・国際人権法の遵守、人道支援物資の供給、戦闘地域の不拡大を議会総意として求めることを決議しました。

■能登半島地震へ迅速な支援を！

年初に発生した令和６年能登半島地震に伴い、横浜市は1月2日に「横浜市被災地支援チーム」を発足。現在は「横浜市災害対策本部」に移行させて、職員や車両の派遣をはじめ、災害用救護物資の提供など被災地に向けての迅速な支援を行っています。

アクションレポート VOL.19

小さな声を聴く力 声をカタチに！

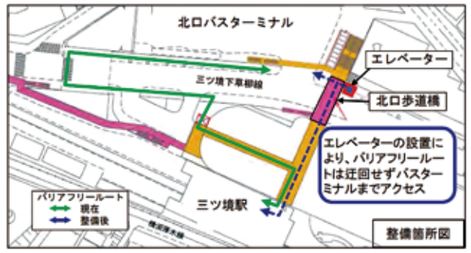
久保かずひろ政務活動事務所
代表 久保かずひろ
横浜市会議員（瀬谷区選出）
〒246-0031
横浜市瀬谷区瀬谷 1-20-7
真和瀬谷ビル II 102
Tel.045-298-6845
Fax.045-330-6151
HP https://www.k-kubo.yokohama/ BLOG https://k-kubo.jugem.jp/

久保かずひろの主張がカタチに！令和6年度横浜市予算案より

三ツ境駅北口にエレベーターを新設

三ツ境駅北口へのエレベーター設置が、調査・設計を経て、いよいよ工事に着手します。バリアフリー法に基づき、安全な歩行者空間を確保し、北口バスターミナルを利用の際には、迂回せずに利用できるようになります。

私は、三ツ境駅へのバリアフリー化については、地域の方と共に陳情書を市長に提出。毎年の横浜市予算編成に対しては要望を重ね、議会質問でも取りあげてきました。設置場所は、昨年6月に市より説明を受けていた北口歩道橋の銀行付近の予定です。



「お悔やみ窓口」がスタート！

お亡くなりになった方の区役所での手続について、御遺族の負担軽減を図るため、「お悔やみ窓口」が瀬谷区・鶴見区の2区でモデル設置されました。（1月30日開設）窓口では、必要な手続を調べて、申請書の作成のサポートなどを行います。

私は「死亡の際に必要なお悔やみ関係の手続きは、複数課の窓口で行う必要があり煩雑」といった声や、御遺族が限られた時間で故人を偲ぶ中、手続き簡素化を求めるご意見を頂き、他都市の事例も提案しながら、議会で繰り返し訴えてきました。このお悔やみ窓口設置に向けての一連の取り組みが、専門誌の「月刊終活」に特集記事として大きく掲載されました。

また、市は「書かない・待たない・行かない窓口」の実現に向けても、証明発行の申請書自動作成システムの全区展開や、証明書発行端末の全区設置、マイナンバーカード利用による手続を進めて行きます。

専門誌の特集記事に掲載（月刊終活の記事より）

データ活用による新たな地震火災対策

大規模な地震が発生した場合、横浜市では、火災による被害が大きいと想定されています。私はこれまで、データを活用した「地震火災リスクの見える化」を推進してきました。

新たに「GIS データに基づく延焼シミュレーション」を活用し、危険性の高い地区を割り出し、優先的・集中的な改善に取り組みます。「燃えにくく、住みやすいまち」の実現に向けて、木造密集市街地の課題解消や耐火性の高い建築物への建替えや道路拡幅による延焼防止などを進めます。また、小学校での防災・出前授業や商店街や地元企業の企画する防災イベントに対しても、地震火災の危険性について啓発していきます。

延焼シミュレーションによる火災延焼予測

テレビ・プッシュ型情報伝達サービス

発災時にテレビが消えていても電源が自動的に起動する情報伝達手段が新たに開始されます。

災害はいつ起こるかわからず、在宅避難が推奨される中では、情報弱者は、災害弱者にもなりえます。スマートフォンを持たない方でも、多くのご家庭にテレビがあり、自分から情報を取りに行く、「プル型」のサービスではなく、強制的にテレビが立ち上がり、情報をお知らせする、「プッシュ型」のサービスは、即時・確実な緊急情報の提供手段としては、効果的であると訴えてきました。

プロフィール ◆1973年11月生まれ、兵庫県神戸市出身 ◆神戸大学卒 ◆国際物流・貿易関係企業などを経て、再生可能エネルギー関連企業に勤務 ◆党神奈川県本部青年局次長、党瀬谷支部支部長 ◆横浜市会／こども青少年・教育委員会、デジタル化推進特別委員会、議会広報会議、神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員 ◆妻と長女、長男の４人家族 ◆R3・R4 年度 横浜市立原中学校 PTA 会長 ◆防災士 LINE募集!!

令和6年度予算案に公明党の主張が大きく反映しました！

1.子育てを力強くサポート

幼稚園・保育園の人材確保を支援

- 保育士等の処遇を改善
- 医療的ケア児受入れのための看護職員を派遣
- ローテーション保育士雇用加算を拡充（加算区分の細分化）
- 宿舎借り上げ支援の戸数を増加

児童手当の拡充

- 所得制限を撤廃、高校3年まで対象拡大、多子世帯へ増額（第３子以降３万円）

※令和6年10月分から拡充（12月に支給）

- 出産・子育て応援金(10万円分)をギフト支給
- 小学校始業前の朝の居場所づくりをモデル実施
- ヤングケアラー支援を拡充
  SNS による相談事業をスタート
- 「医療的ケア児」支援がさらに充実
  医療的ケア児サポート保育園を拡充
  （12→24 園を認定）
- キッズクラブ・学童での夏休み期間の昼食提供をモデル実施

2.防災・減災への備えをさらに強化

学校体育館へのエアコン設置を加速

- エアコンを27校、大型冷風機を10校に新設

災害時の情報伝達手段の強化へ

- テレビプッシュ設置補助をモデル実施（1000件へ）

- 防災ベッド・感震ブレーカー等の設置拡大
- 災害時の障害者支援の拡充・福祉用具の備蓄や避難場所の整備
- 備蓄品へ液体ミルクを追加（段ボールベッドも公明党の提案で備蓄されています）
- 中学校グラウンドへの夜間照明設置推進

3.教育環境のさらなる充実を

不登校児童生徒へ寄り添った支援を強化

- 中学校における教室外登校（校内ハートフル事業）を拡充（55→80校へ）

給食室へのエアコン設置を加速

- モデル校９校に設置して効果等を検証

- 学校のバリアフリー、エレベーター設置を加速（30 校へ倍増）
- 「中学校給食」がさらに利用しやすく！
  令和８年度「みんなで食べる給食」へ、配膳室整備を加速
- 学校の先生の負担軽減を推進
  清掃業務の外部委託、副校長のサポート職員を新規配置

4.誰もが安心して暮らせる街へ

防犯カメラの設置補助を拡大（150台）

- 補助上限額を16→21万円に拡大

地域交通の更なる充実へ

- 新たに12地区で移動サービスの導入検討・実証実験等を実施

- 市営住宅
  住民の負担軽減へ、共益費の徴収、草刈り等を管理者が実施へ
- 帯状疱疹ワクチンの定期接種化へ、市内での罹患状況を調査
- ワンストップの「お悔み窓口」をモデル設置（２区へ）
- 市内約 2700 公園で受動喫煙対策を実施
- 特別養護老人ホーム約1500人分を整備（竣工・着工を補助）

5.物価・エネルギー高騰対策へ追加施策

- 住民税非課税世帯へ７万円を給付
  ２月 28 日から順次支給を開始
- 横浜市エコ家電応援キャンペーン「エコハマ」第２弾実施へ、６月よりスタート

- 商店街の集客促進を支援
  プレミアム商品券を発行する際のプレミアム分および事務費の一部を補助
- 自治会支援で町内会館の断熱化、エアコン導入、LED 化を補助（補助率 2/3）

政務活動最前線

■横須賀市の終活支援を視察

行政が主導して、身寄りのない方の生前の意思確認から登録までを行うなど、市民の尊厳を守る取組みで全国をリードする横須賀市。福祉専門官の北見万幸先生より、課題や成果を伺いました。

横須賀市議会を訪問（11月9日）

■子ども・家庭に寄り添う療育へ

北部療育センター（11月28日）

北部療育センターの通園・診療施設等を視察し、低年齢化する相談対応の現状、求められる支援の変化や課題などを伺いました。

■市大の医療研究の更なる発展を

横浜市立大学福浦キャンパスを訪れ、再生医療研究やメタバース診療所など最新の研究を聴取。また、先端医科学研究センター・新興感染症研究センターでの最新の研究現場を訪れ、今後の研究成果に期待を寄せました。

市大学長などと意見交換（1月18日）

■学校施設への夜間照明を推進

地域の方と設置現場に（1月25日）

戸塚区の柏尾小学校を訪問。地域のスポーツの場の拡充と、災害時では地域防災拠点での安心の場の提供として、小中学校グラウンドへの夜間照明設置を推進しています。